

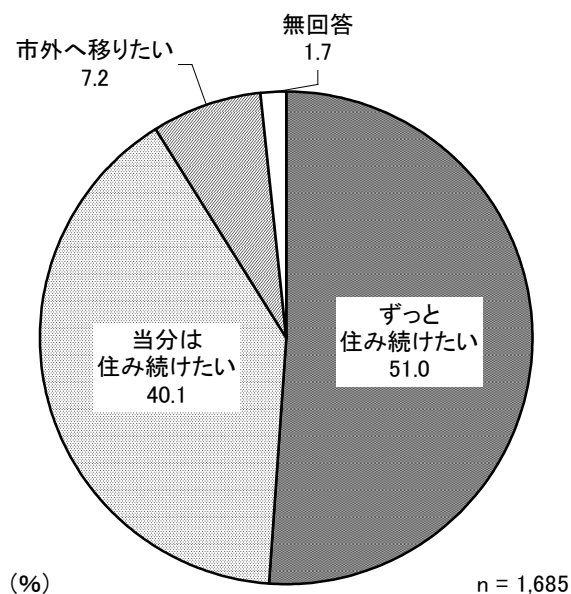
1. 定住意向

1-1 定住意向

◇《住み続けたい》が9割強を占め、「市外へ移りたい」は1割近く

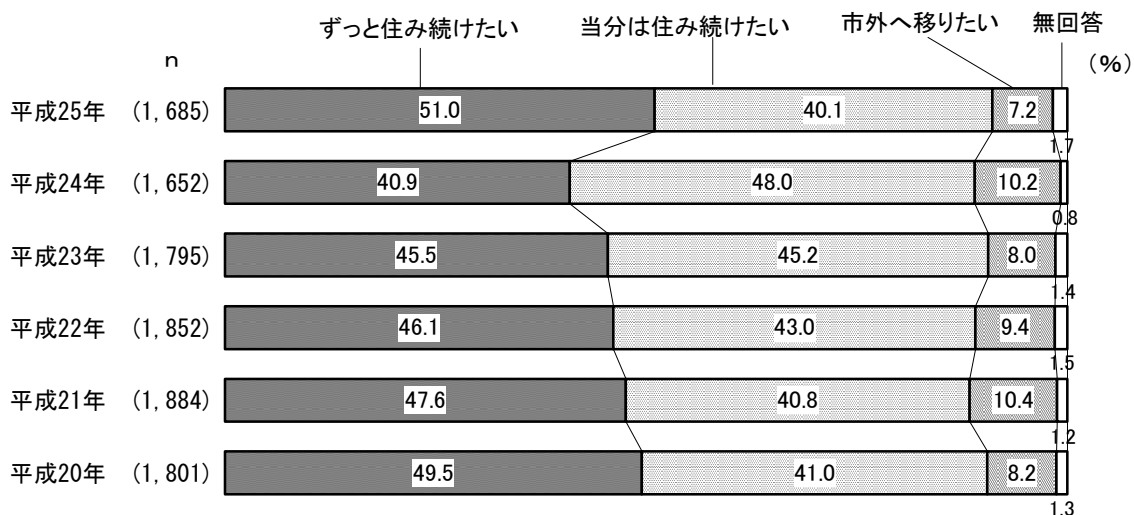
問1 あなたは、これからも八王子市に住み続けたいと思いますか。(○は1つだけ)

図1-1-1



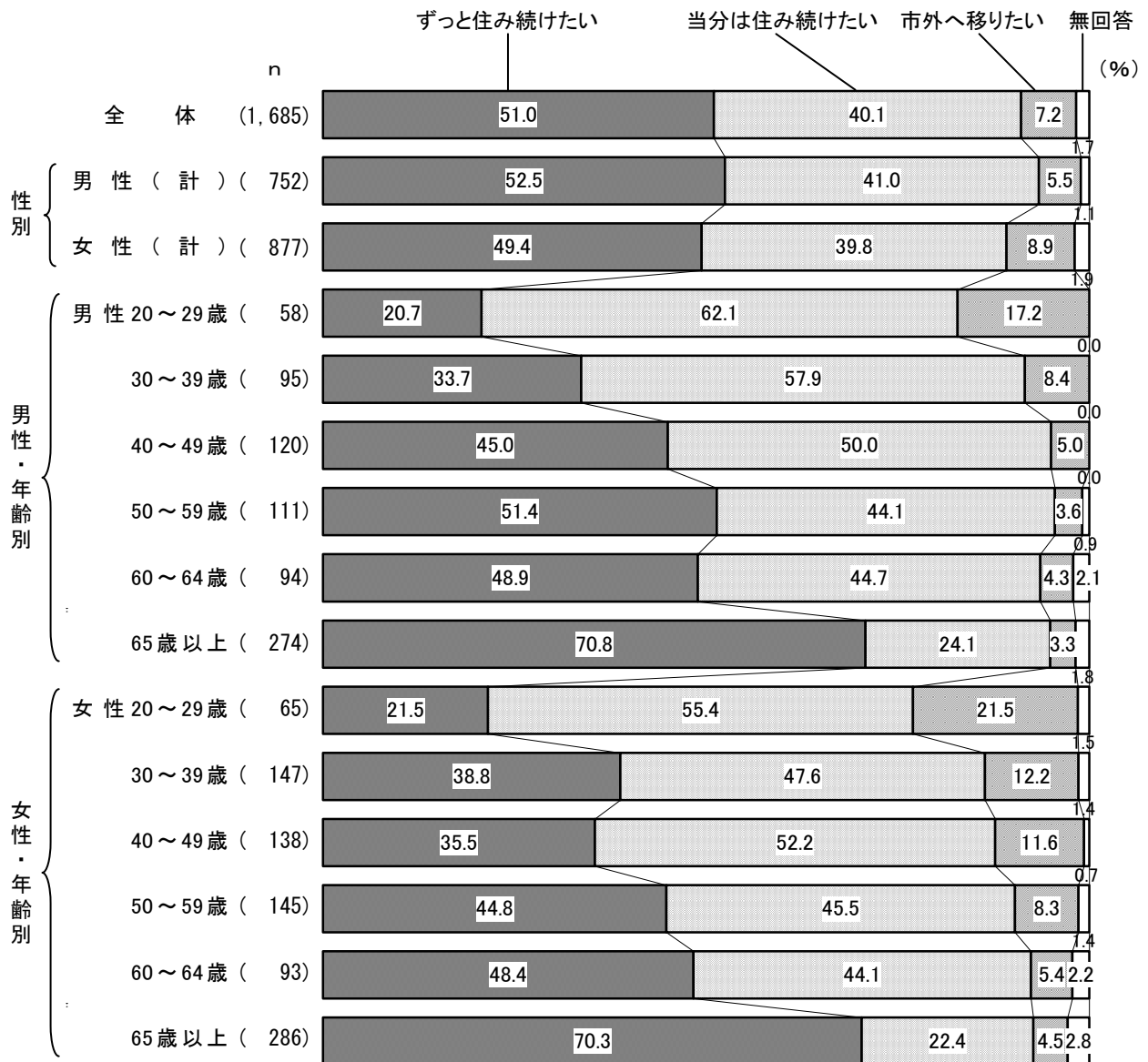
市への定住意向をみると、「ずっと住み続けたい」が5割強（51.0%）と最も高く、「当分は住み続けたい」（40.1%）と合わせた《住み続けたい》は9割強（91.1%）を占める。また、「市外へ移りたい」は1割近く（7.2%）にとどまっている。（図1-1-1）

図1-1-2 定住意向一経年比較



過去の調査と比較すると、「ずっと住み続けたい」は平成20年以降減少傾向にあったが、昨年と比べて10.1ポイント増加し、「当分は住み続けたい」と合わせた《住み続けたい》は引き続き9割前後の割合を占めている。（図1-1-2）

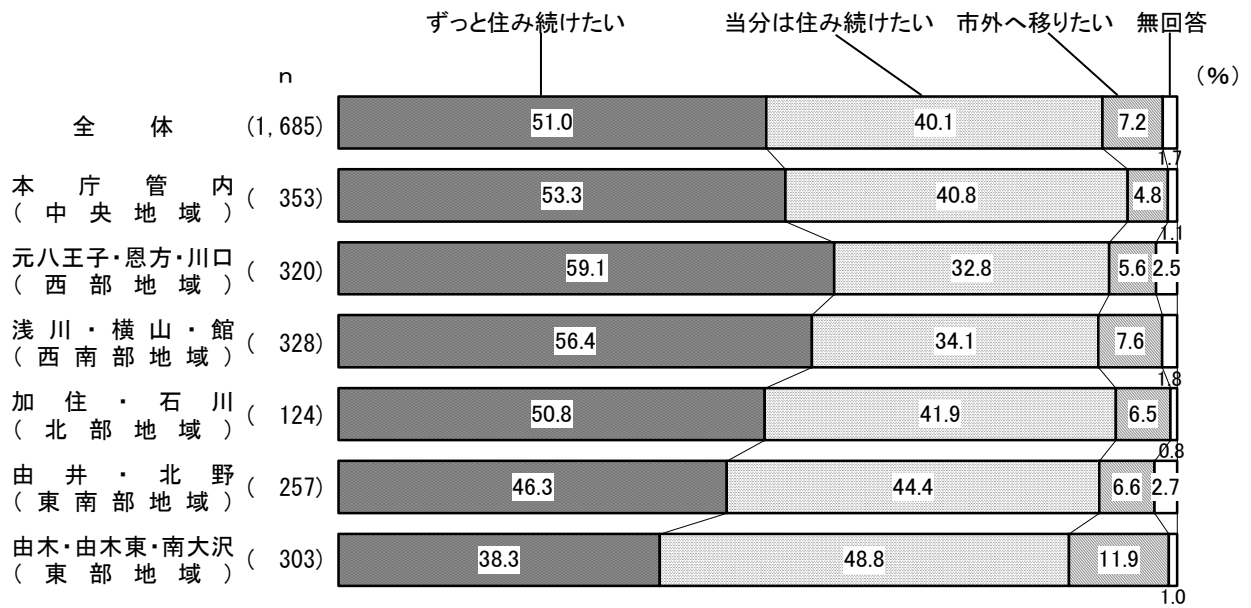
図 1-1-3 定住意向一性・年齢別



性別にみると、「ずっと住みたい」は男性が3.1ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「ずっと住みたい」は男女ともにおおむね年代が上がるにつれて割合が高く、特に男女ともに65歳以上で約7割（男性70.8%、女性70.3%）と高くなっている。また、「市外へ移りたい」は女性20～29歳で2割強（21.5%）、男性20～29歳で2割近く（17.2%）と他の年代に比べて高くなっている。（図1-1-3）

図 1－1－4 定住意向－居住地域別



居住地域別にみると、「ずっと住みたい」はすべての地域で9割前後と高くなっている。また、「ずっと住みたい」は元八王子・恩方・川口（西部地域）で6割弱（59.1%）と高くなっているが、由木・由木東・南大沢（東部地域）では4割近く（38.3%）と他の地域と比べて低くなっている。（図 1－1－4）

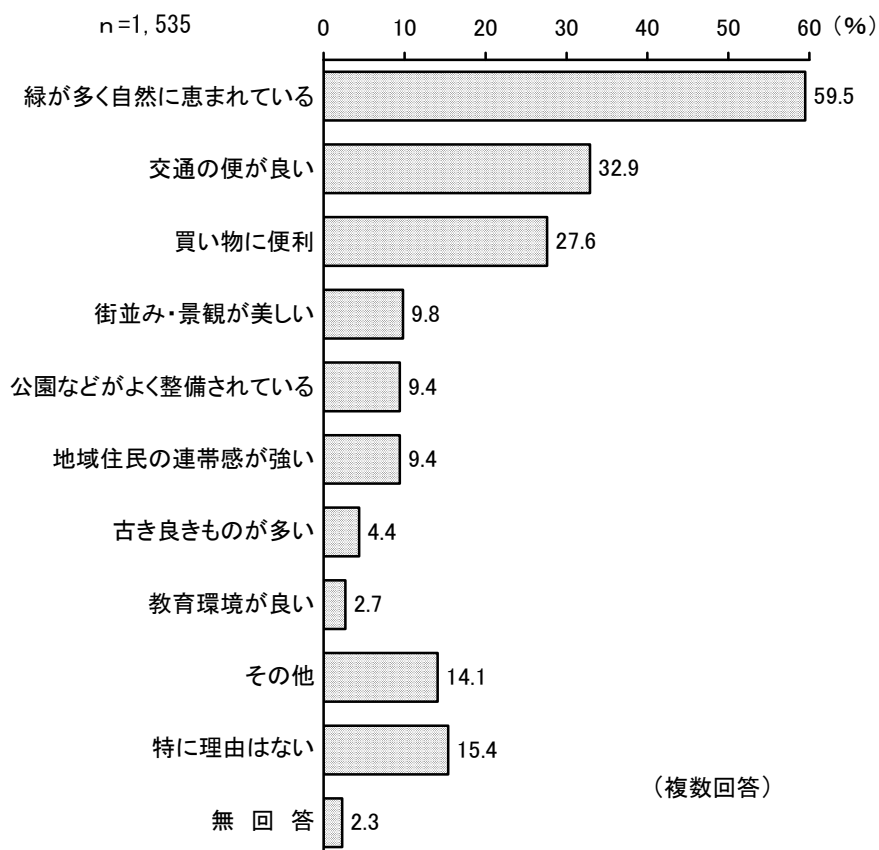
1－2 住み続けたい理由

◇「緑が多く自然に恵まれている」が6割弱

(問1で「ずっと住み続けたい」または「当分は住み続けたい」とお答えの方に)

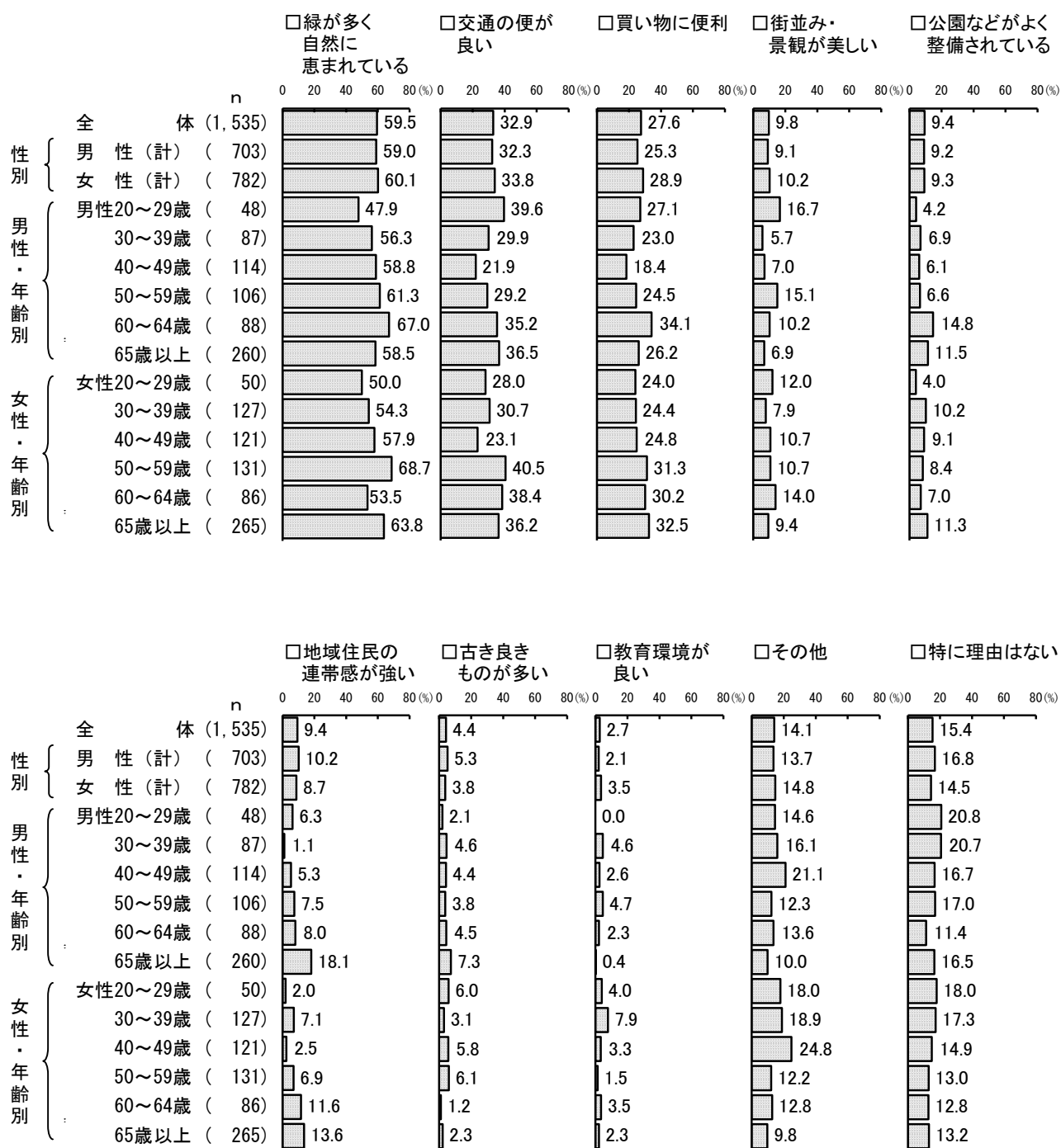
問1－1 住み続けたい主な理由は何ですか。(○は3つまで)

図1－2－1



八王子市への定住意向で「ずっと住み続けたい」、「当分は住み続けたい」と答えた人(1,535人)に、住み続けたい理由について聞いたところ、「緑が多く自然に恵まれている」が6割弱(59.5%)と最も高く、次いで「交通の便が良い」(32.9%)、「買い物に便利」(27.6%)、「街並み・景観が美しい」(9.8%)、「公園などがよく整備されている」(9.4%)、「地域住民の連帯感が強い」(9.4%)と続いている。(図1－2－1)

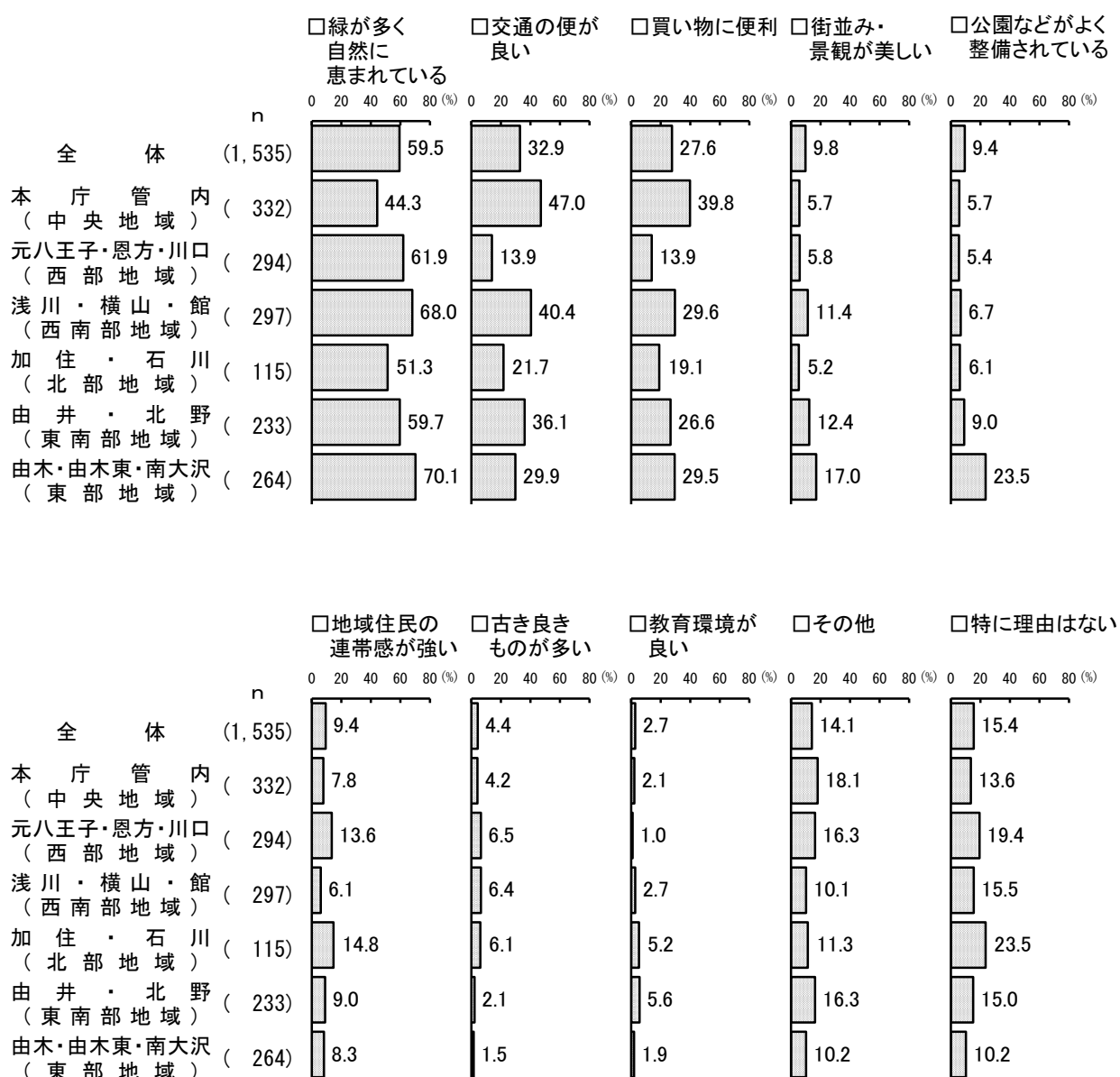
図 1-2-2 住みたい理由-性・年齢別



性別にみると、「買い物に便利」は女性が3.6ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「緑が多く自然に恵まれている」は男性20~29歳を除くすべての年代で5割を超えている。また、「交通の便が良い」は女性50~59歳で約4割(40.5%)と高くなっている。(図1-2-2)

図 1－2－3 住み続けたい理由－居住地域別



居住地域別にみると、「緑が多く自然に恵まれている」は由木・由木東・南大沢（東部地域）で約7割（70.1%）、浅川・横山・館（西南部地域）で7割近く（68.0%）と高くなっている。また、「交通の便が良い」は本庁管内（中央地域）で5割近く（47.0%）と高く、「買い物に便利」も本庁管内（中央地域）で4割弱（39.8%）と高くなっている。（図1－2－3）

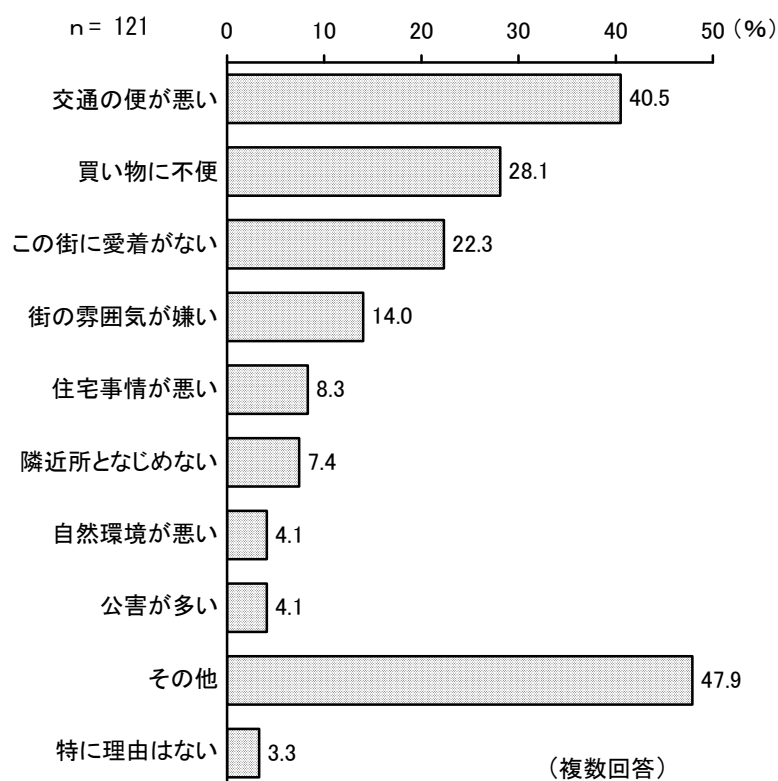
1－3 市外へ移りたい理由

◇「交通の便が悪い」が約4割、「買い物に不便」が3割近く

(問1で「市外へ移りたい」とお答えの方に)

問1－2 市外へ移りたい主な理由は何ですか。(〇は3つまで)

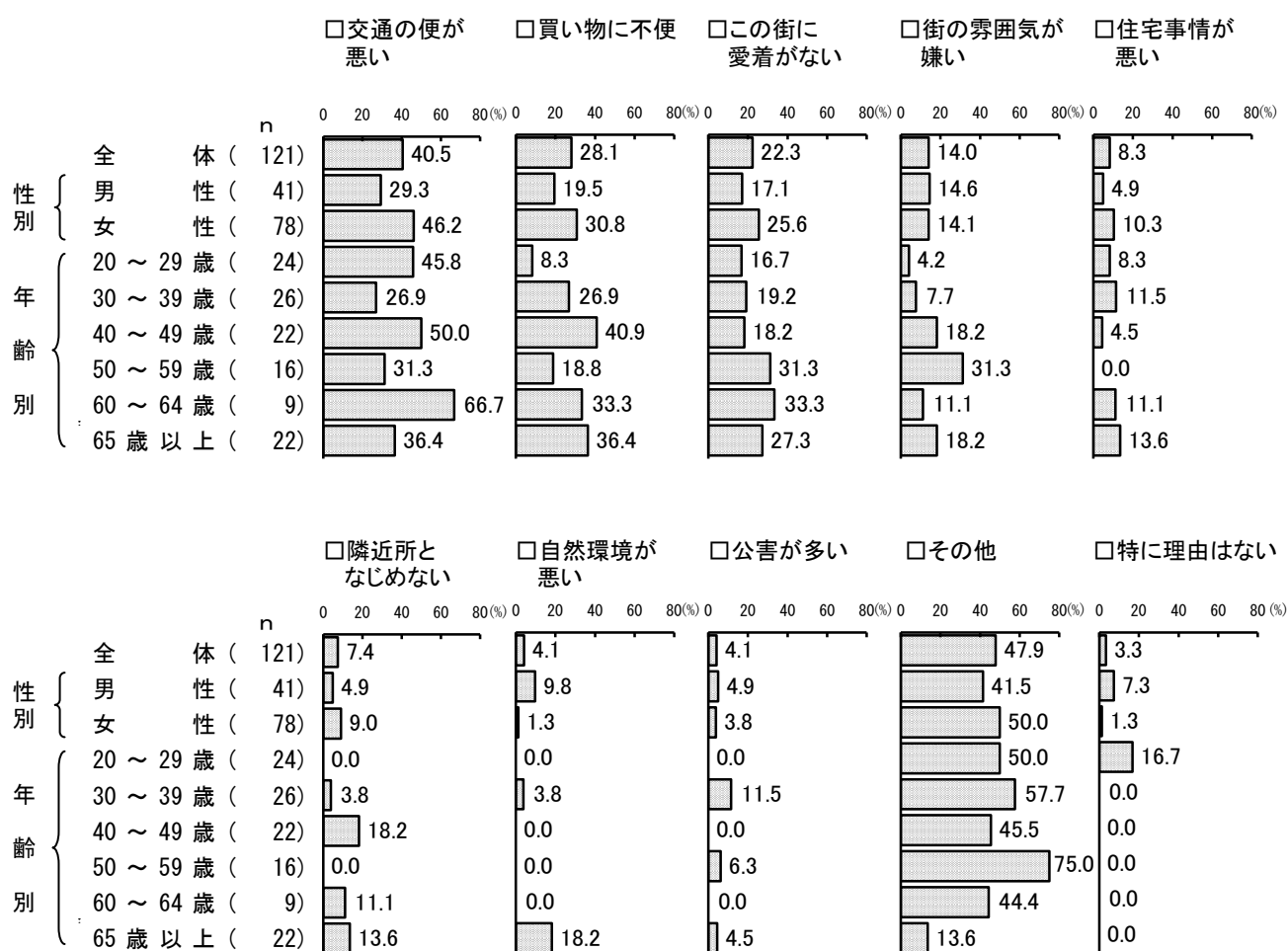
図1－3－1



八王子市への定住意向で「市外へ移りたい」と答えた人(121人)に、市外へ移りたい理由について聞いたところ、「交通の便が悪い」が約4割(40.5%)と高く、次いで「買い物に不便」(28.1%)、「この街に愛着がない」(22.3%)、「街の雰囲気が嫌い」(14.0%)と続いている。

(図1－3－1)

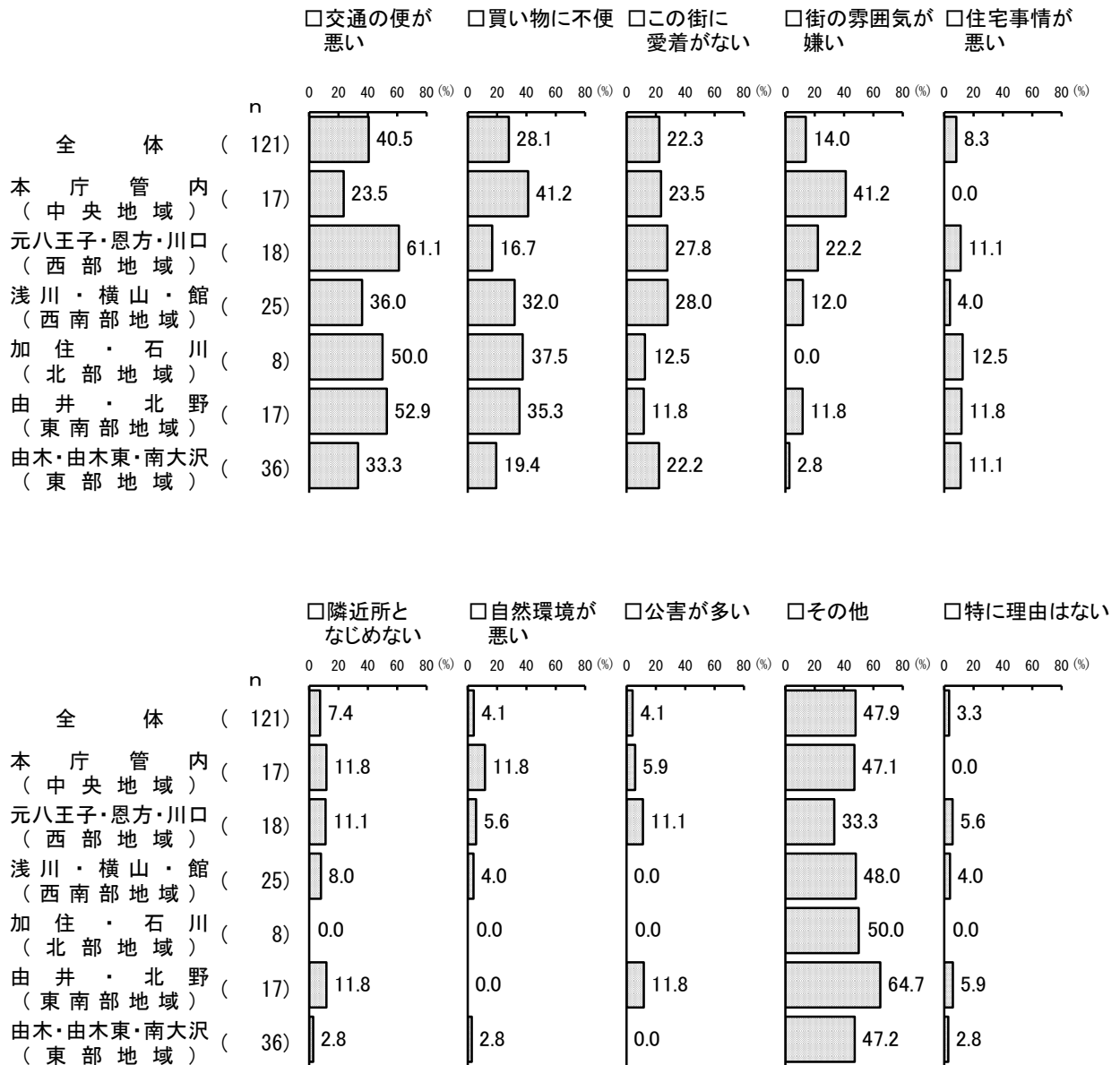
図 1-3-2 市外へ移りたい理由－性別・年齢別



性別にみると、「交通の便が悪い」は16.9ポイント、「買い物に不便」は11.3ポイント、「この街に愛着がない」は8.5ポイント、それぞれ女性が高くなっている。一方、「自然環境が悪い」は8.5ポイント男性が高くなっている。

年齢別にみると、「交通の便が悪い」は60～64歳で7割近く（66.7%）と高くなっている。「買い物に不便」は40～49歳で約4割（40.9%）と高くなっている。また、「街の雰囲気が嫌い」は50～59歳で3割強（31.3%）と高くなっている。（図1-3-2）

図 1-3-3 市外へ移りたい理由－居住地地域別



居住地地域別にみると、「交通の便が悪い」は元八王子・恩方・川口（西部地域）で6割強（61.1%）と高くなっている。また、「街の雰囲気が嫌い」は本庁管内（中央地域）で4割強（41.2%）と高くなっている。（図1-3-3）

1－4 中核市移行の周知度

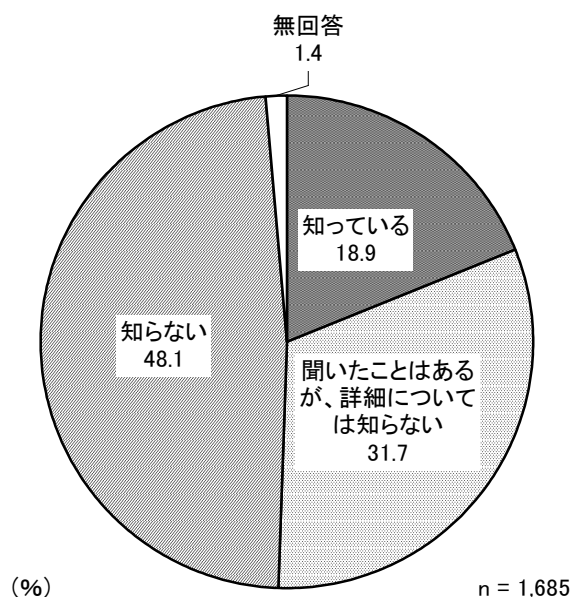
◇《知っている》が約5割

問2 あなたは、本市が中核市への移行を目指していることを知っていますか。(○は1つだけ)

※中核市とは・・・

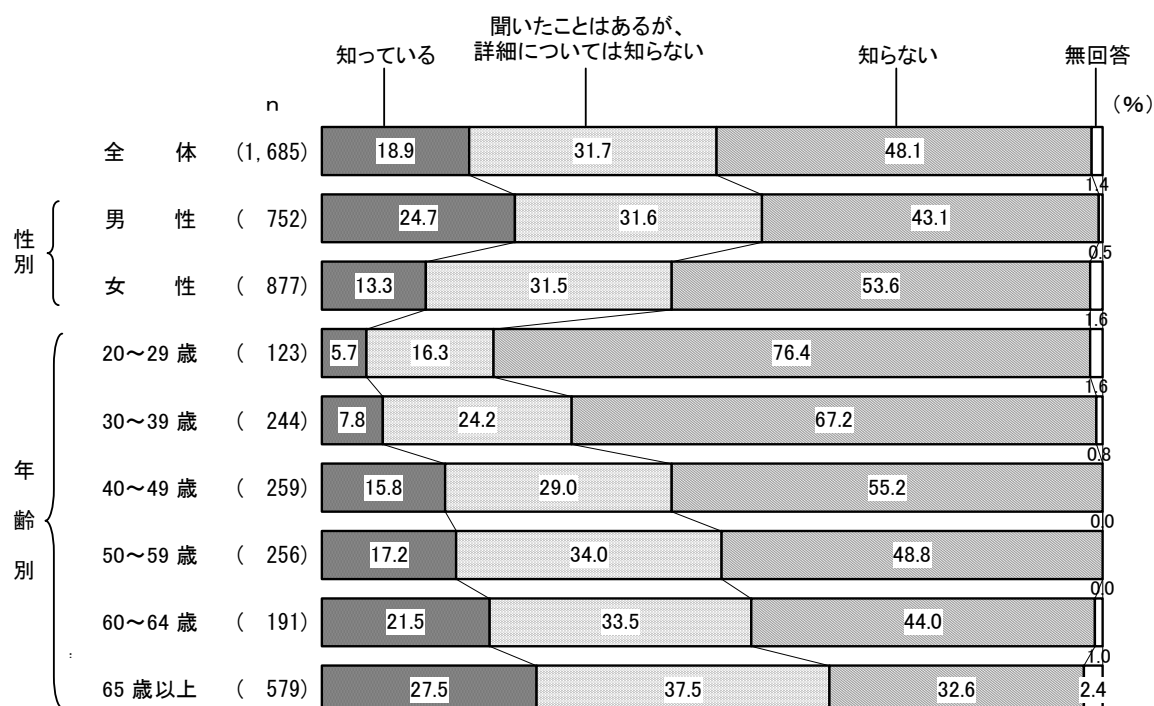
地方自治法により定められた制度で、規模が比較的大きく一定の事務処理能力を持つ都市について、市の事務権限を強化し、できる限り住民の身近で行政を行うことができるようにしたものです。

図1－4－1



中核市への移行を目指していることを知っているかを聞いたところ、「知っている」が2割近く（18.9％）であり、「聞いたことはあるが、詳細については知らない」（31.7％）と合わせた《知っている》は約5割（50.6％）となっている。一方、「知らない」は5割近く（48.1％）となっている。（図1－4－1）

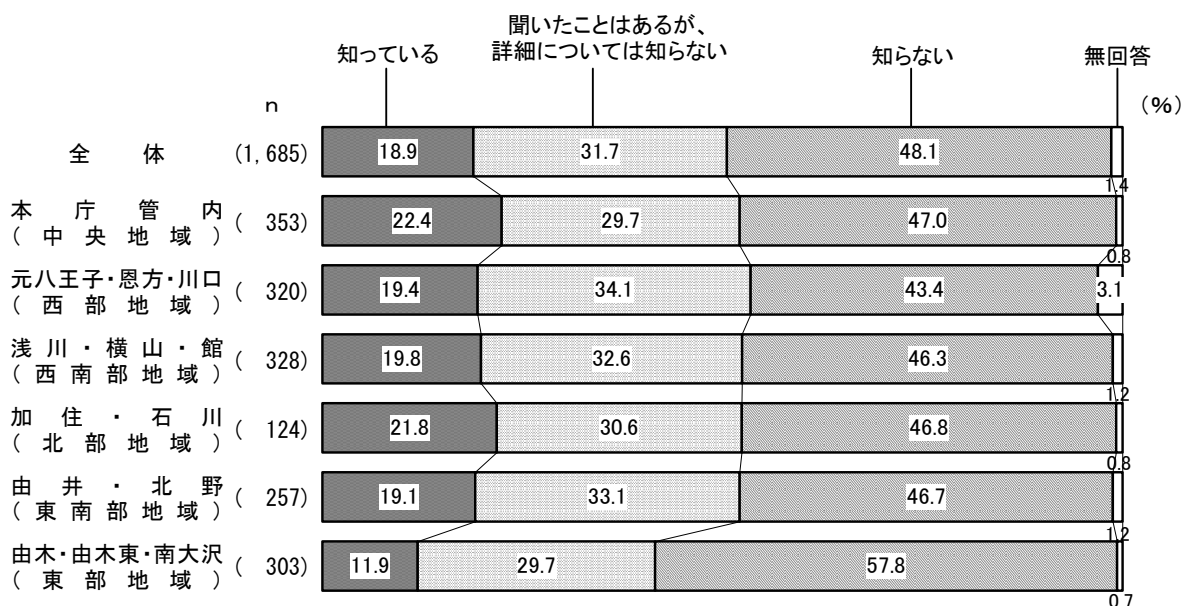
図 1-4-2 中核市移行の周知度－性別・年齢別



性別にみると、「知っている」は男性が11.4ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「知っている」は年代が上がるにつれて割合が高く、65歳以上で3割近く(27.5%)と高くなっている。(図1-4-2)

図 1-4-3 中核市移行の周知度－居住地域別



居住地域別にみると、「知らない」は由木・由木東・南大沢（東部地域）で6割近く(57.8%)と高くなっている。(図1-4-3)